


整理No.2018-37		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2017年 9月26日(火) 10時 10分 天候(曇) 温度(23.8℃)湿度(不明)			
災害区分		<input checked="" type="radio"/> 不休災害 <input type="radio"/> 休業災害(休業:△日)			
被災者	部門	生産部門		雇用形態 <input checked="" type="radio"/> 正社員、派遣、契約、その他()	
	年齢	51歳	性別: <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	勤続年数	33年
	傷病名	病名(右手中指第一裂傷)			
	傷病部位	右手中指			
災害発生状況	9/26 午前9時30分頃、小缶充填作業より			状況概略(写真orイラスト)	
	蓋閉め異常の報告を受け、現場にて状況を確認。				
	現場に戻り、蓋押し部分の動作確認を実施したが				
	この時、電源を切らず「 <u>運転させたまま</u> 」で行った。				
蓋押しシリンダー部分を触診したところ、蓋押し部のシリンダーが上昇、シリンダーブロック部分の角に挟まれてしまい、慌てて指を引き抜き裂傷を負ってしまった。					
災害の型 ^{※1}		5 はさまれ、巻き込まれ	作業の形態: 定常 <input checked="" type="radio"/> 非定常、その他()		
起因物:		蓋押し部分		特記事項	
原因分類	1.人的要因(man)		「大丈夫だろう」と、危険意識が低かった、甘く考えていた		
	2.物に関する要因(machine)		手動で動作確認ができない機構であった		
	3.環境要因(media)		点検時に機械を停止させなかったため		
	4.管理的要因(management)		設備の点検・修理時の「元電源、設備の電源OFF」をしなかった		
対策	man		: 設備トラブル発生時は、状況確認および目視点検に留め、設備担当者に依頼する		
	machine		: 機械的な改造・改良対策ができないため、表示による「見える化」を実施		
	media		: 生産部員への決め事・ルールの再確認、遵守を実施		
	management		: 本来の「決め事」である、設備異常確認時の電源OFFの確認・運転を停止して行う		
対策分類 ^{※2} :		1-6 教育、2-4 危険認識			
備考	類似箇所抽出:				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)